発行月／令和５年１月

第84号

なでしこ通信

●新年のご挨拶
●第28回ケアマネジャー・病院懇談会をＷＥＢ開催しました
●なでしこプラン「ブラジル人学校における学校健診」
●なでしこプラン　更生保護施設の訪問
●リハビリテーション×テクノロジーで何ができる？
●骨格筋とたんぱく質のお話
●令和４年秋の叙勲報告
●元気に退院インタビュー
●消防訓練を実施しました！
●こんにちは、園芸部です
●新人紹介
●当院へお越しの方へご案内

題名：輝け！ 2023 年　　撮影者：長嶋　正實

愛知県済生会リハビリテーション病院の基本理念

済生会設立の精神である「恵まれない人々を助ける」を基にして、リハビリテーションを通して、保健・医療・福祉及び介護のサービスを総合的に提供します。

愛知県済生会リハビリテーション病院の基本方針

1　人間性を尊重した、心の通った、質の高いリハビリテーションを提供し、患者さんの自立への支援を行います。
2　生活相談や健康相談を通して、医療を受けることが困難な人々の健康づくりのお手伝いをします。
3　職員の一人ひとりが自己研鑽に励み、知識と技術の向上に努めると共に、明るく働きやすい職場づくりに努めます。

～無料低額診療事業のご案内～

当院では病気やけがにより生活困難をきたす恐れがある方や経済的理由により必要な医療をうけることが困難な方に対して社会福祉法に基づいて無料低額診療事業を行っています。
申請を希望される方は地域連携室までご相談ください。

「医療福祉・地域連携室」　TEL 052-571-5253（ダイヤルイン）

募集　あなたの作品を「なでしこ通信」の表紙にしませんか？詳細は当院総務課までお問い合わせください。**沢山ご応募お待ちしております！**

新年のご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新型コロナウィルスとの闘いは 4 年目を迎えました。優れたmRNA ワクチンを手にし、効果的な治療薬も絞られてきました。私たちはこのウィルスと対等に立ち向かうスタート台にようやく立てたのでしょうか。

思えば昨年 2022 年は新型コロナのパンデミックに、ロシアのウクライナ軍事侵攻、世界的インフレと歴史的な円安が加わり、考えもしなかった“疫病と戦争と経済不安の時代”へと突入しました。国内では深刻な値上げラッシュが進行しています。増税も議論され、格差拡大と社会の分断が心配です。

人々が互いに血を流し合う戦争が再び身近な問題となった今、それを避ける知恵と努力が求められています。昨年のノーベル平和賞を受賞したロシアの人権団体”メモリアル“のヤン・ラチンスキー氏は「残念ながらロシア社会には国家による暴力を断ち切る強さがなかった」と語っています (dNHK)。願わくは日本社会にその強さがあってほしいと心底思います

全世界の若者たちに幸あれ、日本の若者たちに幸あれと祈りながら、新年のご挨拶に代えたいと思います。

愛知県済生会リハビリテーション病院
院長　田内　宣生

第28回ケアマネジャー・病院懇談会をWEB開催しました

令和 4 年 10 月 24 日（月）当院において、第 28 回ケアマネジャー・病院懇談会をＷＥＢで開催しました。

西区や西区以外の居宅介護支援事業所など、16 事業所から 26 名と、当院からは医師・看護師・リハビリスタッフ・ソーシャルワーカー・事務員が参加しました。

医師の講演は、当院、奥村直哉副院長より「不整脈の基礎知識」というテーマで講演がありました。不整脈を理解するための基礎知識や、診断・治療の進歩について説明があり、不整脈の発生原因から治療の説明、特に早期発見が重要であることを学びました。

グループワーク

堀場俊介通所・訪問リハビリ主任から、現状の状況や、第 27 回ケアマネジャー・病院懇談会でのアンケート結果について報告がありました。

事例検討は「経管栄養で自宅に帰る患者のリスク管理」というテーマで発表があり、その後、参加者がグループワークを行い、様々なサービス利用の提供や、介入、対応などについて意見交換が行われました。患者さんを取り巻く多くの問題点についての対応、対策を皆で共有でき、当院スタッフも、とても勉強になりました。

また、病院と事業所との連携の重要性も再確認することができました。

今回で 5 回目の WEB 開催となりました。多くの方から貴重な意見を頂き、今後も患者さん・ご家族･地域の方々と、より良い連携を目指し、患者さんの支援に活かしていきたいと思います。

看護師　高木　靖子

奥村副院長による講演

通所訪問リハビリ報告

●なでしこプラン「ブラジル人学校における学校健診」●

ブラジル人学校は「学校保健安全法」の適用にならず、学校健診は義務付けられておらず、子どもたちが健診を受ける機会がありません。

豊田市にあるブラジル人学校イーエーエス校は 2019 年から当院が関わり健康診断を行っております。

採血の様子

新型コロナウイルス感染症により、3 年振りに健診を行いました。

当院からは医師 1 名・看護師 4 名・検査科 1 名・事務 2 名の合計 8 名が参加し、生徒 235 名に対し、身長・体重・血液・尿・視力検査を 2 日間に分けて行いました。

健診結果を踏まえ、3 名の医師による診察を 11 月 4 日に実施しました。

尿検査・血液検査・診察の結果を保護者に連絡し、異常がみられた児童生徒に対し、診療情報提供書を作成し、学校の先生と連絡を取り医療機関への受診を勧めてもらいました。

今回、新型コロナウイルス感染症第 7 波の状況をみながら、学校と日程調整を行い健診を実施しましたが、大きな問題がなくブラジル人学校健診を終える事が出来ました。

健診ではブラジル人の先生にも積極的に参加していただき、また日本語が話せる生徒に通訳をお願いし、生徒同士で協力しながら健診を受けている生徒さんもいました。学校健診を通して先生や、生徒、保護者にも健康に意識をもっていただければと思います。

今後も引き続き双方で様々な交流を図りながら、関係各所と連携をとり、みなさんに健康な生活を送っていただけるような事業に取り組んでいきたいと考えています。

医療福祉・地域連携室　主事　渡邊　祐実

身長の測定

医師による診察風景

なでしこプラン 更生保護施設の訪問

私は現在、更生保護法人 徳永会 大徳塾と更生保護施設 岡崎自啓会を2～ 3 か月に 1 度の間隔で訪問させていただいています。訪問は今年で 9 年目になります。更生保護法人 徳永会 大徳塾は豊田市にあり当院からおよそ 40 ㎞、更生保護施設 岡崎自啓会は岡崎市にあり当院からおよそ 55 ㎞のところにあります。事前に入所者の健康状態やご希望の相談内容、人数等について情報を得て、可能な限りご希望に添えるように準備し訪問に伺っています。長距離ではありますが、その道中ではいつも“犯罪のない平和で住みよい社会づくり、それは誰もが望む願い。その実現のためには、犯罪を生み出さない地域づくり。犯罪や非行を犯した人たちの社会復帰。そして再犯防止、そのために何ができるだろう”と考えています。

今回は更生保護法人 徳永会 大徳塾を訪問し、血圧、体温測定、個人・集団による健康相談を行ってきました。近年の長引くコロナ禍の影響で、“更生保護女性会”の行事がしばらく行われず、ふれあいの場がないことが現状の課題であることをお聞きしました。“更生保護女性会”とは、地域社会から非行や犯罪をなくし、過ちを犯した人たちの立ち直りを支援するために立ち上がったボランティア団体のことで、活動内容は①犯罪・非行予防②子育て支援③社会参加④更生保護施設に対する援助⑤研鑽などです。コロナ前はお花見や餅つき大会などの写真が壁いっぱいに掲示されていましたが、今年は掲示されていません。私にできることは、健康相談以外に世間話をして、笑っていただくことです。そのためいつもより長く話をするのです。この日は「名古屋市西区にある済生会、知ってるよ。」と言われると「そうなんですね。明日は愛知県生誕 150 年だからブルーインパルスが飛びますね。同じ愛知の空を見上げましょうね。」など、施設の職員の方を交え談笑していた入所者の方は、穏やかで優しい表情をされていました。人を救うのは法律や制度だけではなく、温かい人の心なのだと感じた瞬間でした。

このような健康相談などの地道な活動ではありますが、犯罪や非行を犯した人たちの自立更生と社会復帰を助け、再犯や非行を防いで新たな被害者を生まないことにより、安全・安心で、誰一人取り残さない社会づくりの一助となればと考えています。

看護部長　行本　由実子

リハビリテーション×テクノロジーで何ができる?

最近はいろいろな分野で IT 化が進んでいますが、リハビリテーション分野でも様々なテクノロジーが導入されてきています。今後の発展が期待できます。

オルソボット(本体)

オルソボット(装着)

□ロボットが歩くことを補助する

ロボットといってもロボコンのような人型ではありませんが、歩行訓練をアシストするロボットはすでに存在しています。当院で臨床研究のお手伝いをしている「オルソボット」も歩行をアシストするロボットです。保険適応になる機器もあります。

□自宅にいながらリハビリテーションができる

現在スタートしているものはすべて自費ですが、運動を支援するようなものから、失語、高次脳機能障害に対するものまでいろいろなアプリやサービスがあります。心臓リハビリテーションでは研究も進んでいて、近い将来にオンラインリハが保険適応になるかもしれません。AI とのコラボでさらに進化しそうですね。

□念じたら照明器具やテレビがついたり消えたりする

想像すると、超能力の世界ですね。でも、これも本当です。しゃべりかけたら作動する AI スピーカー（Siri や google アシスタント（OK google）など）やスマート家電はすでに日常にありますが、これは脳波を使って機器を動かします。BMI（Brain-machine Interface）と略されます。認知機能が保たれていることが必要ですが、四肢に障害のある人が、やりたいことができるようになる、働きやすくなる、そんなテクノロジーです。余談ですが、イーロン・マスク氏は脳に電極を埋め込むタイプの BMI を開発中とのことです。これが実現すると、脳と AI をつなぐこともでき、超能力というよりサイボーグのような SF が現実になるのかもしれません。気になる方は、「Neuralink」を検索してみてください。

□サイヤ人のスカウターみたいに目の前の対象物の情報が得られ、さらに動かせる

スカウターよりもごつい感じの専用ゴーグルが必要になりますが、これも本当です。現在、実用化されているものでは MR（VR と AR の技術を組み合わせたようなテクノロジー）を利用し、高次脳機能評価や訓練をするというものです。

リハビリテーション科　第2部長　家田　一文

骨格筋とたんぱく質のお話

骨格筋とは

骨格筋は体重の 40%を占める、身体の中で最大の組織であり、身体活動を生み出すうえで最も重要な器官です。骨格筋量及び筋力の維持・向上は、運動機能の向上につながり、日常生活動作能力の維持や転倒予防においても必要です。その骨格筋量を維持していくためにも、食事からのたんぱく質の摂取が必須です。

(参考：アミノ酸による骨格筋タンパク質分解調節機構に関する研究　長澤孝志　日本栄養・食糧学会誌　第 71 巻)

たんぱく質とは

たんぱく質とは、アミノ酸が多数結合したもので、20 種類のアミノ酸から構成され、筋肉や臓器など身体を構成するうえでとても重要なものです。アミノ酸のうち、バリン、ロイシン、イソロイシン、スレオニン、メチオニン、リジン、フェニルアラニン、トリプトファン、ヒスチジンの 9 種類は必須アミノ酸といわれ、体内で作り出すことができないため食事から摂取する必要があります。体内で作り出すことができる非必須アミノ酸はグリシン、アラニン、グルタミン酸、グルタミン、セリン、アスパラギン酸、アスパラギン、チロシン、システイン、アルギニン、プロリンがあります。

骨格筋の代謝調整

筋肉は常に分解（異化作用：空腹時、疾患、ストレスなど）と合成（同化作用：栄養摂取、運動など）のバランスによって保たれております。その為、筋肉内のたんぱく質の合成作用速度が分解作用速度に上回った場合のみ筋肉の合成が可能となります。反対に、たんぱく質の分解速度が合成速度を上回った時間が長時間続くと分解作用が亢進し、筋分解が進んでしまうため、食事で補給していく必要があります。つまり必要量のたんぱく質を身体に補給せず、分解作用が優位になると、骨格筋量の低下を招きやすくなってしまいます。

たんぱく質の 1 日の摂取推奨量

年齢＼性別	男性	女性
18～64 歳	65 g/日	50 g/日
65 歳以上	60 g/日	50 g/日

(参考：健康長寿ネット　三大栄養素のたんぱく質の働きと 1 日の摂取量から引用)

食材に含まれるたんぱく質量

食品(100g あたり)	たんぱく質	食品	たんぱく質
鶏胸肉	約 23.3 g	紅鮭	約 17.8～22.5 g
鶏もも肉	約 19.0 g	まぐろ(刺身)	約 26.4 g
鶏ささみ肉	約 23.3 g	鰺(刺身)	約 20.7 g
牛肩肉(赤身)	約 20　g	卵(M1 個)	約　6.6 g
豚ロース	約 19.1 g	牛乳	約　6.6 g

(参考：健康長寿ネット　三大栄養素のたんぱく質の働きと 1 日の摂取量から引用)

筋肉を維持・向上させるために運動も大切ですが、身体を動かす上で骨格筋のエネルギーとなる栄養の補給は更に大切であるため、たんぱく質の摂取量にも気をつけることが大事になります。今回はたんぱく質についてでしたが、もちろん炭水化物、脂質も大切なのでバランスのよい食事を心掛けていきましょう。

通所・訪問リハビリテーション　理学療法士副主任　久米　裕介

令和4年秋の叙勲報告

令和4年秋の叙勲におきまして、「瑞宝双光章」受賞者となることができました。
令和4年11月4日に、愛知県庁講堂において、知事から伝達されました。
令和4年秋の叙勲受章者は、愛知県において、旭日章21人、瑞宝章117人の併せて138人でした。そのうち瑞宝双光章受賞者は33人でした。
大きな国璽が押された勲記とともに、勲章をいただきました。
大きな名誉をいただきましたので、謹んでご報告させていただきます。

愛知県済生会　支部長　加藤　欽一

瑞宝双光章

叙勲伝達式

消防訓練を実施しました！

10月20日(木)午後3時40分から約30名の職員が参加し、今年度第1回目の消防避難訓練を実施しました。

病院では1年に2回、消防避難訓練の実施が義務付けられています。

今回の訓練は、平日の昼間に5階病棟リネン室からの出火を想定し、初期消火・通報連絡・避難誘導の一貫した総合訓練を行いました。

課題も見つかりましたが、今後も訓練を通して防火意識の向上を図り、不測の事態に備えていきたいと思います。

防火管理者　山口　貴生

消防設備の取り扱い説明

避難誘導訓練

通報連絡訓練

元気に退院インタビュー

4階病棟
森永　道子さん

Q① お身体の調子はいかがですか。

A 入院時は車椅子でしたが、今では歩けるようになり体調は良好です。

Q② 職員の対応はいかがでしたか。

A 長嶋先生始め職員スタッフがとてもすばらしく、心から感謝してます。
リハビリスタッフより、「歩くことはとっても楽しいことですよ～。」と励まして下さり、そのおかげで歩けるようにして頂きとても嬉しかった!!

Q③ 退院後にしたい事はありますか。

A 趣味の編み物でショールなどを作りたいです。

こんにちは、園芸部です。

新年あけましておめでとうございます。今年も園芸部はたくさんの花たちを患者さんに見ていただけるように育てていきたいと思います。よろしくお願いします。

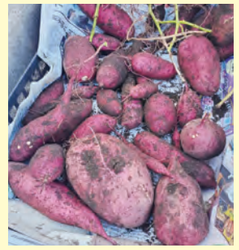
昨年の秋にさつまいもとトマトの収穫を行いました。さつまいもは結構大きなお芋が採れました。トマトは植える時期が遅かったので、少ししかなりませんでしたが、甘いトマトができました。

寒さに強いお花は限られていて毎年同じようなお花になってしまうのですが、年々花壇の土がよくなっていくようで花の咲き具合が満開もしくは咲き乱れるような感じになっています。園芸部が活動して今年で４年目になりますが、土は大事なんだなぁと実感しております。これから暖かくなってくるといろいろなお花が咲き始めます。お楽しみに！

トマト

なでしこ

ビオラ


さつまいも

新人紹介

主　事　佐々木（ささき） 彩花（あやか）

皆様のお役に立てるように頂いたお仕事に対して全力で頑張ります。日々誠実に仕事に励むつもりですのでよろしくお願いいたします。

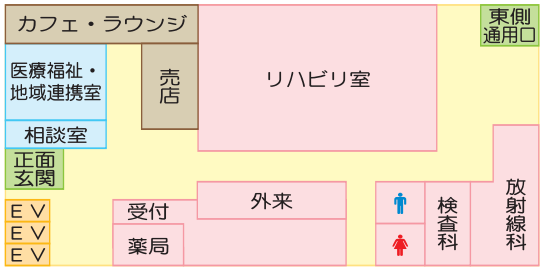
●趣味／テニス

● 当院へお越しの方へご案内 ●

■病院案内図

※1　入退院時、家族面会等の場合、駐車券を１階受付にお出し下さい。
入庫時間より最大２時間まで無料とさせて頂きます。
２時間を越える場合は、60分毎に200円の料金が発生します。

1F受付・EVへの行き方



新型コロナウイルス感染拡大防止の為、令和２年３月11日より患者関係者の面会禁止、病院正面玄関の閉鎖を行っております。
ご用のある方は、ご連絡の上、東側通用口へお越しください。
ご迷惑をお掛けし大変申し訳ありません。
※状況により、今後変更がある場合がございます。
　お問い合わせ等は下記電話番号へご連絡ください。

■病棟案内図

- ３Ｆ～６Ｆ　病棟●リハビリテーション室
- ２Ｆ　管理部門●栄養管理室●会議室
- １Ｆ　受付●外来●医療福祉・地域連携室●相談室●薬局●検査●放射線科●リハビリテーション室●売店

●市バスでお越しの方

名古屋駅バスターミナル
５番乗り場　名駅26系統平田住宅行き
「済生会リハビリ病院（愛知県済生会リハビリテーション病院）」下車
１番乗り場　名駅29系統左回り
「済生会リハビリ病院（愛知県済生会リハビリテーション病院）」下車
栄バスターミナル（オアシス21）
１番乗り場　栄27右回り西巡回
「済生会リハビリ病院（愛知県済生会リハビリテーション病院）」下車

●名鉄でお越しの方

名鉄名古屋本線「栄生駅」下車、北東へ徒歩約10分

●地下鉄でお越しの方

地下鉄鶴舞線「浅間町駅」下車、西へ徒歩約15分